

第2章－3 認知症に関する事例

【自己紹介】

氏名:川崎 智志

所属:一般財団法人 弘潤会

勤務:宮崎市東大宮地区地域包括支援センター

第2章－3 認知症に関する事例

【目的】

認知症に関する事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、認知症の要介護者等に関する実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることができる知識・技術を修得する。

第2章－3 認知症に関する事例

【本章の修得目標】

- ①実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し分析できる。
- ②分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導および支援を実践できる。
- ③認知症の要介護者等並びに家族への支援に当たって重要となる医療職をはじめとする多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導できる。
- ④連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法および改善方法の指導ができる。
- ⑤認知症の要介護者等の支援方法を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。
- ⑥ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法および改善方法の指導ができる。
- ⑦認知症に係る事例の指導をする上で、必要な情報を収集できる。

第2章－3 認知症に関する事例

【講義演習の展開例と学習のポイント】

○主任介護支援専門員としての実践の振り返りと、指導支援の実践についての講義演習。

第2章－3 認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

構成	時間	内容
導入	10分	○本科目の目的、修得目標を確認 ○自己紹介・役割の決定 ○研修記録シートを用いてそれぞれの目標を確認
講義	30分	○各科目における基本的知識の確認をテキストで行う。
演習 1－①	30分	○実践指導事例①の発表と共有
休憩	10分(10時40分頃)	
演習 1－②	45分	○事例検討① 実践指導事例の振り返り ・事例提供者の指導についてよかった点 ・事例提供者とは違う指導の視点 実践指導事例の振り返り ・個人ワークで出した意見をグループ内で共有する ・指導過程の分析と改善策
発表・まとめ	10分	○グループワークの発表
昼食	45分(11時45分頃)	

主任介護支援専門員更新研修

第2章－3 認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

構成	時間	内容
演習 2－①	30分	○実践指導事例②の発表と共有
演習 2－②	50分 (休憩5分含む)	○事例検討② 実践指導事例の振り返り【個人ワーク】 実践指導事例の振り返り【グループワーク】
発表・まとめ	10分	○グループワークの発表
講義	20分	○本科目のなかで、地域づくりにおける主任介護支援専門員の役割
演習 3	20分	○地域づくりに向けた課題分析【個人ワークおよびグループワーク】 ・本科目のなかで地域づくりに参画する主任介護支援専門員が持つべき視点を共有化する
休憩	10分(14時45分頃)	
演習 4	50分	○地域課題解決策の検討【グループワーク】 ・事例検討①②に関する地域課題に対して解決方法の取り組みを検討する。
発表・まとめ 振り返り	30分 (16時15分終了)	○グループワークの発表 本日の振り返り 研修記録シートの作成

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

無断複写・転載を禁ずる

テキストP206～

①認知症に関する医学的知識

- (1)アルツハイマー型認知症
- (2)脳血管性認知症
- (3)レビー小体型認知症
- (4)前頭側頭型認知症
- (5)軽度認知障害

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

無断複写・転載を禁ずる

テキストP209～

②認知症の予防、早期発見・早期診断

認知症施策推進大綱の基本的な考え方

「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら『共生』と『予防』を車の両輪として施策を推進」

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

無断複写・転載を禁ずる

テキストP36

認知症施策推進大綱 具体的な施策の5つの柱

- ①普及啓発・本人啓発支援
- ②予防
- ③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
- ④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援
・社会参加支援
- ⑤研修開発・産業促進・国際展開

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

テキストP210～

無断複写・転載を禁ずる

③認知症の人の現実世界を理解する

- (1)認知症の人は何に困っているか。
- (2)BPSD(認知症の行動・心理症状)をどう“理解”
するか

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

無断複写・転載を禁ずる

テキストP211～

④BPSDの「原因」とBPSDを増悪させる 「理由・背景要因」

- 「原因」 = 疾患による脳の機能・構造の障害
- 「理由」 = 本人の心の中(主観的現実世界)
- 「背景要因」= 薬の副作用、熱発、脱水、家族や
多職種の不適切な対応

主任介護支援専門員更新研修

I 認知症に関する知識と支援

無断複写・転載を禁ずる

テキストP212～

⑤認知症の人の支援

- (1)フォーマルサービスとインフォーマルサポート
「自助、互助、共助、公助」の視点

⑥家族支援

⑦認知症の人の権利擁護

主任介護支援専門員更新研修

Ⅱ ケアマネジメントの各プロセスにおける 指導上の留意点

テキストP210～

無断複写・転載を禁ずる

① インテーク

→権利擁護の意識、早目の対応

② アセスメント

→ICFの視点・アドボカシー(代弁=権利擁護)

③ 居宅(施設)サービス計画(ケアプラン)原案の作成

→チームが同じ方向を向いて歩くための根拠

主任介護支援専門員更新研修

Ⅱ ケアマネジメントの各プロセスにおける 指導上の留意点

テキストP218～

④ サービス担当者会議・計画の修正(合意)

→「情報共有型・問題解決型」

→ケアプランの実施 “自分自身を大切な存在と思えること”

⑤ モニタリング(継続的な管理)および評価

⑥ 終結

→人生の最期をどのように過ごすかは、人生最大で最後の
自己決定

無断複写・転載を禁ずる

主任介護支援専門員更新研修

認知症に関する事例

テキストP225～

無断複写・転載を禁ずる

【ねらい】

指導事例をもとに、認知症の基本的知識と認知症の人の理解の視点、権利擁護について再確認しながら、介護支援専門員の指導についてのポイントを修得する。

主任介護支援専門員更新研修

認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

【演習1-①、2-①:ブレイクアウトセッション】

○実践指導事例の発表と共有

・事例提供者は「事例概要シート」を用いて指導事例を発表。自らの指導についての振り返りをする。

・指導事例の指導過程で「工夫した点、うまくいった点、うまくいかなかった点」を明らかにする(共有する)。

・指導事例に関する質疑応答(質問を独占しない、事例提供者になり変わらない、質問と意見を一緒にしないなど)。

主任介護支援専門員更新研修

認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

【演習1-②、2-②:メインセッション】

○実践指導事例の振り返り(個人ワーク:10分)

- ・事例提供者の指導について良かった点
- ・事例提供者とは違う視点

※事例提供者は、事例の指導過程を自己分析したうえで、自身の強みや自信を持って伸ばしていくポイント、また弱点や苦手意識、不足している指導視点などを振り返りまとめる。

主任介護支援専門員更新研修

認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

【演習1-②、2-②:ブレイクアウトセッション】

○実践指導事例の振り返り(グループワーク:15分)

- ・個人ワークで取り組んだ内容について意見交換を行い、グループで考える指導過程(課題)を共有する。

○指導過程の分析と改善策(個人ワーク:5分)

- ・グループで共有した指導過程(課題)に対し、改善策や取り組みを考える。

○指導過程の分析と改善策(グループワーク:15分)

- ・指導過程(課題)の改善策や取り組みをグループ内で共有しまとめる。

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

テキストP220～

無断複写・転載を禁ずる

①連携と地域ケア会議

新オレンジプランの基本的な考え方

「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

テキストP220～

①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

→認知症サポーター養成講座、学校教育等における認知症高齢者への理解推進

②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

→認知症疾患医療センターなどの整備、認知症初期集中支援チームの設置、認知症サポート医の養成など

③若年性認知症施策の強化

→若年性認知症の人の居場所づくり、就労・社会参加の支援

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

テキストP220～

無断複写・転載を禁ずる

④認知症の人の介護者への支援

→認知症カフェなどの設置、家族向けの介護教室の開催

⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

→家事支援や食事など生活の支援(ソフト面)、住まいや移動手段の確保など、生活しやすい環境の整備(ハード面)。安全確保(行方不明時の早期発見・保護を含めた地域での見守り体制の整備、消費者被害の防止、成年後見制度)

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

テキストP220～

⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発およびその成果の普及の推進

→ロボット技術やICT技術(情報通信技術)を活用した開発支援・普及促進など

⑦認知症の人やその家族の視点の重視

→認知症の人や家族が必要と感じていることについての実態調査や、生きがいづくりを支援する取組の推進

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

テキストP221～

無断複写・転載を禁ずる

②個別課題から地域(普遍化)課題へ

→個別の「問題」をひもといて「要因」を探り、「要因」をひもとくことで「手段的要因」を導き出すプロセスの再確認

③新たな社会資源の構築

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

介護支援専門員のAさんが担当していた利用者Bさん(75歳・男性)が、何度か自宅から外に出て帰れずに行方不明になってしまいました。Aさんは介護保険サービスだけの対応では困難なので、地域住民を含めた見守り体制を構築したいと考え、地域包括支援センターの主任介護支援専門員Cさんに相談しました。CさんはAさんとともに、地域の民生委員や区長、派出所、郵便局、コンビニエンスストア等に働きかけ、地域ケア会議を開催、Bさんの見守りネットワーク体制を構築することを働きかけました。会議の際に参加者から「認知症があり行方不明になってしまう人はBさんだけではない。地域の中でも何人かいる。その人たちも含めた見守り体制を構築したほうがよいのではないか」との意見が出されました。そこでBさんも含め、地域の中で認知症高齢者の見守り体制を構築していくことになりました。

主任介護支援専門員更新研修

コミュニティソーシャルワークの定義

無断複写・転載を
禁ずる

コミュニティソーシャルワークは、地域に顕在的に、あるいは潜在的に存在する生活上のニーズを把握し、それら生活上の課題を抱えている人々に対して、ケアマネジメントを軸とするソーシャルワークの過程と、それらの個別援助を通じての地域自立生活を可能ならしめる生活環境の整備や社会資源の改善・開発、ソーシャル・サポート・ネットワークを形成するなどの地域社会においてソーシャルワークを統合的に行う活動である。

(3訂/主任介護支援専門員研修テキストP217)

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

【演習3:メインセッション】

- 認知症に関して**地域づくりに参画する主任介護支援専門員が持つべき視点を考える(個人ワーク10分)

【演習3:ブレイクアウトセッション】

- 個人ワークで取り組んだ内容について意見交換を行い、グループで共有する(グループワーク15分)

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

【演習4:メインセッション】

- 地域課題への転換(個人ワーク:10分)**
 - ・事例検討①②に関する個別課題を地域課題へ転換する。

主任介護支援専門員更新研修

Ⅲ 地域包括ケアシステムへの展開

無断複写・転載を禁ずる

【演習4:ブレイクアウトセッション】

- 地域課題への転換(グループワーク:15分)**
 - ・事例検討①②に関する地域課題について意見交換を行い、グループで共有する。
- 地域課題解決策の検討(個人ワーク:10分)**
 - ・グループで共有した地域課題の解決法について考える。
- 地域課題解決策の検討(個人ワーク:15分)**
 - ・地域課題の解決法についてグループ内で共有しまとめる。

主任介護支援専門員更新研修

第2章－3 認知症に関する事例

無断複写・転載を禁ずる

テキストP274

【ポイントの例】

- 認知症支の人を支援する際には権利擁護をともに意識する。
- 認知症のBPSD(行動・心理症状)の要因はさまざまであることを理解し、分析、対処できるように指導する。
- 認知症状の改善には、医学的アプローチに加え、役割づくりや現有能力の活用がそれ以上に効果的であることを指導する。
- 認知症の支援には、自助(セルフケア)、互助(インフォーマルサポート)、共助・公助(フォーマルサービス)のすべてを活用することが必要ということをご指導する。
-

主任介護支援専門員更新研修